

事務事業名		市田柿生産体制強化支援事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	19	終了		
H27担当課等名	農業課		H27係等名	生産振興係		H26係等名	生産振興係								
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化												
目的	対象(誰・何を)	市田柿			対象指標	指標名及び単位			26年度数値						
	意図(どういう状態にするか)	生産(栽培・加工)体制を強化する。				市田柿生産者数(戸)(農林業センサス)			1238						
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	特認生産者認定数(累計戸数)			30	34	40	45							
	成果指標	市田柿栽培面積(ha)(下伊那全域)			500	492	520	530							
定性目標															
事業概要	南信州地域の財産である市田柿のブランド力を更に高めるために生産団体、関係機関と連携して次の取り組みを進める。 1 生産体制の強化 (1)苗木導入による栽培拡大 (2)新規園地拡大への支援 (3)遊休柿園の復活 (4)作業支援体制の検討 2 加工体制の強化 (1)衛生管理・高品質化技術・設備の導入支援 (2)生柿の集荷加工体制の整備検討 3 生産技術の向上 (1)加工技術の巡回支援 4 市田柿特認生産者(市田柿を地域の中核として先導的に生産する農家)の育成および支援														
	事業内容					名称				活動指標					
	26年度事業内容	1 生産体制の強化 (1)苗木導入補助 (2)園地拡大補助 2 加工体制の強化 (1)衛生管理・規模拡大のための加工施設整備支援 対象:強制乾燥施設・パイプハウス等 (2)衛生管理・品質向上のための機器導入支援 対象:脱針式皮むき機等 3 特認生産者(中核的生産農家)の育成と支援					1 (1)苗木導入本数 (2)新規整備面積 2 (1)施設整備数 (2)機器導入数 3 特認生産者数(新規)				1 (1) 1,845本 (2) 28a 2 (1) 95施設 (2) 41台 3 8人 (特認生産者34人)				
		事業コスト					25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①					25,565	24,938	24,581	11,889							
国庫支出金															
県支出金					10,999										
起債															
その他															
一般財源					14,566	24,938	24,581	11,889							
人件費計(千円)②					3,147		3,022								
正規職員所要時間					880		845								
臨時職員所要時間															
総事業費①+②					28,712	24,938	27,603	11,889							
事業内容・目標達成状況の振り返り	特認生産者認定制度の認定者数が計画を上回っており、生産規模の拡大と品質の向上、ブランド維持に向けた支援を行うことができた。また脱針化に向けた脱針式皮むき機の導入支援を行った。需要に応える生産基盤を強化するため、中核的農家の育成支援、中小農家の生産量確保と遊休地解消に向けた支援、更には新たな担い手育成のために支援が必要である。														
改革改善の考え方	①問題点	H26年度からの皮むき機脱針化へ完全移行する予定であったが、3月時点の導入率や針刺し式で加工した干し柿の扱いを勘案し1年の猶予期間が設けられる。中小規模農家の生産意欲向上につながる更なる支援が必要である。													
	②改革提案	引き続き、省力化や効率化を図る設備導入資金の支援制度の周知、中核的農家には規模拡大の資金補助や遊休化する園地の斡旋を行う。													